

神奈川県立保土ヶ谷養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和2年度 神奈川県立保土ヶ谷養護学校 第4回 ほどよう協議会		
開催日時	令和3年2月22日（火）午前9：45～11：45		
開催場所	保土ヶ谷養護学校 美術室		
出席者	委員：9名 事務局：4名		
次回開催予定日	令和3年5月10日（月）の週で調整中		
問合せ先	神奈川県立保土ヶ谷養護学校 副校長 藤 聡志 TEL 045-714-0581 FAX 045-742-9716		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	/
審議（会議）経過	<p>○開会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長挨拶 2. 校長挨拶 3. 資料確認（副校長） 4. 出席者及び会成立の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・委員9名、事務局4名の出席により、成立 5 学校評価年度末評価の報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 視点ごとの目標の達成状況と課題の報告 <ul style="list-style-type: none"> < 1 教育課程、学習指導 > <ul style="list-style-type: none"> ア 「体育」について学部内でねらいや内容を整理し、見える化した段階。次年度は、年間授業計画の連続性を整える。 イ 防災教育計画の作成には至らなかった。マンスリーショート訓練や安全行動定着度確認シートを作成し、学部内で情報を蓄積した。 < 2 （幼児、児童）生徒指導支援 > <ul style="list-style-type: none"> ア 各学部等で実態に即した「わかる授業」の展開に取り組んだ。また、指導実践を進めるための月2回の打合せ時間を確保した。 イ 今年度コロナ感染症の影響で、対面や集合しての交流・共同学習がほとんど実施できなかったが、作品展示をすること等で可能な交流を行った。感染症対策を行い、来年度に向け準備中である。 		

< 3 進路指導支援 >

ア 小学部段階では、これからの生活上身に付けたい力の整理・共有を進めた。分教室ではそれまでに培った力をベースに、卒業後の進路での生活に必要な力を整理し、具体的な進路学習等の機会・内容の設定を進めている。

イ 進路ハンドブックの改定で、つけたい力と日頃の指導のつながりについてわかりやすくした。

< 4 地域との協働 >

ア 新型コロナウイルス感染症の影響で地域交流の実現に向けた情報発信はできなかったが、現在のボランティア活用状況を各校から集め情報共有した。

イ 小学校の巡回事例を地域連携班と共有し、意見交換したものをまとめ、教材や支援方法について小学校に情報提供できた。また、専門職から「コロナとストレス」、「マスク着用の工夫」などの情報をホームページで発信するとともに巡回指導の際に紹介した。

< 5 学校管理、学校運営 >

ア 各学部や学年で人権研修を実施し、その振り返りからテーマを決め、1月に一週間、各チームで取り組むことで、教員の意識化が進んだ。

イ コロナ感染症対策の業務は、中心となるグループと運用・実施するグループが、協力し効果を上げた。校医・保健所・県の助言も取り入れながら未然防止のための改善を今後も図る必要がある。

< 目標達成に向けたマトリクス >

ア 実施内容の具体性や客観的な評価基準がはっきりしなかったため評価が難しかった。次年度へ向けて内容の具体化と客観的な評価ができるよう検討中。

< 教育活動アンケート（保護者、教員）結果 >

ア 地域資源の活用、近隣校との交流、地域連携は、昨年度、一昨年度と比較し肯定的回答の割合が10%～20%低下、新型コロナウイルス感染症の拡大が大きく影響。今後は、感染状況を見極めながら適切に判断する。

イ ICTの活用は、保護者アンケート48%、教員71.7%と大きな差がある。係を中心に情報機器の活用に努めているが、保護者に伝える情報発信が不十分だった。今後は定期的に保護者に知らせる機会を設ける。

ウ 個人情報保護と人権尊重は、重点的に取り組み徐々に成果が表れ

ている。引き続き重点的に取り組む。

エ 全体の肯定的回答の割合は、90%を目指す。ICT活用の肯定的回答の割合を上げるとともに70%台の項目についても工夫し、割合を上げたい。

オ 保護者アンケートの自由記述として、路線バス利用マナーや学校の備品等について。また、教員アンケートではネットワーク環境や新型コロナウイルス対応等について意見が出された。

< 生徒による授業評価アンケート結果 >

ア 調理の項目は、調理ができなかったため、歌唱は飛沫感染防止の観点から歌わない、体育と体力づくりの項目は、ペアやグループでの活動、接触プレーのある競技ができなかったことが影響している。

イ 舞岡分教室（生徒数37名）は、臨時休校などあったが、全体として肯定的な回答が昨年度とほぼ同じ。

ウ 平沼分教室（生徒数44名）は、全体の平均で昨年より13%減少。新型コロナウイルスの影響による校外行事等の中止や音楽・体育等の教科の学習内容の制限等が減少の原因と思われる。

6 協議その①「学校評価に係る改善策検討等」と承認

A委員- アンケートをとった後の処理は難しい。アンケートで得た内容は改善するように取り組んでほしい。進路の手引きの改訂はとてもいい。小学部から高等部までの流れがどう網羅されているのかみたい。地域との協働では、今「保土ヶ谷ほっとなまちづくり」の第4期に入っている。学校と福祉は違うが、何が地域で求められているのか、参加することも参考になるのではないか。

学校- アンケート結果は、目に見える形で改善し、進路の手引きについては、紹介できるようにしていきたい。「ほっとなまちづくり」への参加は、検討したい。

B委員- コロナ感染症の影響がアンケートにも反映され、実施しても地域や保護者に評価されないことがある。そういう部分は、もっとPRが必要。あいさつは、絶対必要で自然に出てくるように学校でも習慣づけてほしい。アンケート結果は、その人によって評価が違ってくる。皆が同じように考えるようになると評価が定着してくると思う。ネットワーク環境はどうか？

学校- タブレットの通信速度が遅くなって続かないときがある。生徒にストレスがかからないようにしていきたい。

※ 今年度、分教室の設備が更新され、現在ネットワーク環境は

改善されています。

C委員- 交流については、教職員だけでは、なかなか発信まで力を割けずにいる。PTAの広報も活用できるとよい。アンケート調査についてどこも抱える難しい問題だが、勉強になる分析がされている。生徒による授業評価は、自己成長を確認する評価でありよいと思う。

D委員- コロナ禍で町内会でも横のつながりができなくなった。掲示板の利用も限界がある。情報を地域にどう伝えていいのかわからない。話し合いもできないので、一人高齢者は、どこへ話していいのかわからない。今後どうしていくのが課題である。

会長- これからどうしていくのか考えるとき、ぜひ学校も加えて検討してほしい。

E委員- アンケートは素晴らしい。民生委員は、ICT化でツイッターでの子育て発信を行っている。また、高齢者への訪問も行っており、「あったか保土ヶ谷計画」は社協で行っている。地道に地域密着の活動をしている。

F委員- アンケートのタブレット活用は、あまり保護者は知る機会がない。個別面談などで伝えてもらえば、知る機会ができるのではないか。進路について、就労の際のマイナスポイントを保護者にしっかりと伝えてほしい。長い目でどう考えるのかアドバイスがほしい。

G委員- アンケート調査について3年間の推移をみるのが大切。PC、タブレットについて、1人1台配備できているのか、学校に通わなくてもPCが貸与されるのか。学校運営協議会は、3年間参加しているが、いい形になってきたと思う。

学校- PC 配備については、順次すすめている段階。県としてはすすめているが、1人1台配備まではまだ至っていない。

会長- 一部の学部等で、保護者アンケートの回収率が低いので、全体的に回収率を上げてほしい。

「学校評価に係る改善策検討等」と承認について、了承。

協議会の要望として、「ネットワーク環境を改善してほしい」を加える。

7 令和3年度 学校運営協議会運営計画等の提案

(1) 令和3年度の運営計画書について説明

＜要望＞ 来年度予算（予定される工事など）の説明があるとよい。
来年度第1回協議会では、今年度の決算報告をしてほしい。

(2) 切れ目ない学校部会について説明

今年度は、コロナ感染症の影響でほとんど活動できなかったが、情報を収集し、来年度へ引き継いで行く。学校間交流と地域交流は、コロナ感染症を考慮した内容の検討はあるが、取り組んでいく。

(3) 学校独自部会の取り組みを説明

農園活性化プロジェクトの活動報告をし、来年度農園活用部会の立ち上げについて提案し、承認された。土作り、野菜作りに加え、遊び場の活動についても考えて行く。

8 協議その②「令和3年度 学校評価に係る改善策検討」と承認
令和3年度 学校運営協議会運営計画等の提案、了承
農園活用部会を立ち上げることを含めて了承

9 学校長挨拶

10 副会長挨拶

11 閉会